



参議院議員

大島九州男



福岡事務所
福岡県春日市若葉台西 6-90

国会事務所
東京都千代田区永田町
2-1-1
参議院議員会館910号室
電話03-6550-0910
kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい
<http://kusuo-o.net/>

大島九州男
キャラクター
Qちゃん

Top 震災復興に全力で取り組む

大島議員は、米国ロックフェラー財団の次期総帥である、デイビット・ロックフェラー・ジュニア夫妻の被災地訪問を計画しました。

11月6～7日、宮城県に入った大島議員らの訪問団は、まず仙台市の奥山市長が待つ仙台市若林区の荒浜小学校を視察。荒浜小学校は大津波によって2階まで浸水したものの、1人の児童も犠牲にならなかった施設です。

その後、東松島市の野蒜（のびる）地区において、地震による地盤沈下の影響で市街地が常に浸水している状態を確認。地盤のかさ上げ作業が進む現地の進捗状況を視察しました。

仮設住宅の視察においては、断熱材の設置作業が進む現場を訪問し、避難住民の方々からご意見を伺いました（写真）。

大島議員らは、3カ所目の訪問地として石巻市に向かい、亀山市長から漁港の再整備とがれき処理についての要望を伺い、精力的な視察を行いました。



写真) 断熱材設置工事が進む東松島市の仮設住宅を、仙台市議会の佐藤議長、ロックフェラー氏と訪問

現地ルポ

漁港整備は遅れているのか？

再生が進む石巻漁港のいま

大島議員は、幹事長室の宮城県担当（震災復興を含む）として、被災地の復興に全力を傾注しています。

特に、被災地の雇用を回復させるための取り組みとして、1次産業の農林水産業、2次産業の水産加工業等の製造業、そして3次産業のサービス業に至るまでの“いいとこ取り”をした6次産業の定着が必要であると考えています。

写真の石巻漁港にある仮・市場は、いわゆる「テント張り」の施設ですが、強固な枠組みがあり「10年は使える（漁協関係者）」強度を持っています。

まずは足元の1次産業の復活を果たし、その後水産加工業等の製造業の復興へとつなげる取り組みが既に始まっています。

引き続き、被災地の復興を全力で支援していきます。

写真) 石巻市魚町の石巻魚市場



報告



厚生労働委員会で発言

3党合意を受けて、来年度から恒久的な子育て支援策となる「子ども手当」について厚労大臣と議論を展開し、その関連で、就学支援金制度（高校授業料実質無償化）について、関係大臣、副大臣、政務官と意見交換をしました。

報告



国政報告会を開催

東京と名古屋において国政報告会を開催しました。

国政で取り組んでいる、平和運動、就学支援金制度、療養費、専門・各種学校、統合医療、生活排水適正化、中小企業交際費、公共交通政策などを報告しました。

報告

世界平和を祈る

「第10回世界平和祈りの集い」が開催され、世界平和を祈る多くの方々と共に出席させていただきました。

世界平和への高い志を持つ皆様と共に、平和活動に全力で取り組む決意をあらたにしました。



日本海側拠点港

国土交通部門会議に出席しました。

議題となったのは、来年度の税制改正議論と日本海側拠点港の選定についてです。

昨年、太平洋側に関しては「国際戦略コンテナターミナル」の選定に関して、京浜港（横浜、川崎、東京）と阪神港（大阪、神戸）が決まり、国際競争に対する我が国の戦略的なビジョンが示されたところで、かつて世界を席卷した横浜・神戸の2大港湾の再生に向けた取り組みがスタートしたところです。

日本海側の「港湾戦略」に関しては、これまで具体的な策が決まっていなかったが、政権交代を受け、いよいよ本格的な議論が進み、この11日、「日本海側拠点港」が選定される運びとなりました。

今回「日本海側拠点港」に選定されたのは、新潟、伏木富山（富山県）、下関（山口県）、北九州（福岡県）、博多（同）の5港です。

成長を続ける”アジア”に近い「日本海側港湾」として、是非ともがんばってほしいと思います。

前田武志国土交通大臣は「アジアの成長は目覚ましく、その経済発展を取り込むことが目的」と述べ、今後、具体的な事業への補助や税制面、規制緩和などで支援することを表明しています。

大島九州男ブログ「Q-blog」から



写真) 新門司地区から北九州空港を望む 北九州市港湾局HPから

デイビット・ロックフェラー・ジュニア氏の基調講演を主催

被災地の訪問を通じて、日本への渡航が安全であることを海外に発信してくれたデイビット・ロックフェラー・ジュニア氏に、国会においても基調講演をしていただきました。

講演テーマは、「次世代の次世代にいかにか地球を手渡すか」。

150名を超える、NPO関係者、個人、政府関係者、国会議員が集まり、「海洋環境の保全」と国際貢献について熱い議論が展開されました。



写真) 参議院 特別会議室内で開催された基調講演

デイビット・ロックフェラー・ジュニア氏は、自身が設立に加わった、米国のNPO団体「セイラーズ・フォー・ザ・シー」で、美しい海の保全に取り組んでいます。

子供たちに海洋の重要性について教育を行ったり、ヨットから海に浮かぶゴミをすくい上げたりすることなど、草の根の活動が多いそうです。

世界の人口が激増して、海への過剰な負担問題が顕在化する中、デイビット・ロックフェラー・ジュニア氏の基調講演は、海の重要性について再考させられる良い機会となりました。